

水道管の凍結防止について

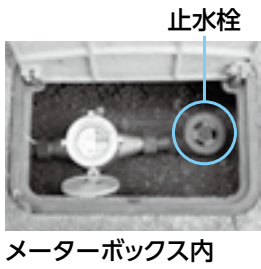
冷え込みが厳しくなると、水道管が凍結して水が出ないといったトラブルが発生します。水道管に布を巻いて固定したり、メーターボックスの中に布を入れて保温したりするなど、事前に凍結防止対策を実施しましょう。

【水道管が凍ったときは】

自然に溶けるのを待つか、凍結部にタオルを巻いて上からぬるま湯をかけてください。

【水道管が破裂したときは】

メーターボックス内の止水栓を閉め、市指定給水装置工事事業者に修理を依頼してください（修理費用は個人負担となります）。



【問合先】 上下水道課 ☎0978-72-5197

市税等のお支払いは、 便利で安全・安心な「口座振替」で

市では、納税等のために金融機関等へ出かける必要がなく、「つい、うっかり」の納め忘れを防ぐ便利で安全・安心な**口座振替**を推進しています。口座振替は皆さんの利便性向上だけでなく、収納に関する書類作成等の事務経費削減にも役立ちます。

手続きについてご不明な点があれば、お気軽にご相談ください。

【口座振替できる金融機関】

大分銀行、豊和銀行、大分県信用組合、九州労働金庫、大分県農業協同組合、大分県漁業協同組合、ゆうちょ銀行

【問合先】 税務課 管理係
☎0978-72-5156

オンライン企業合同説明会への 参加企業を募集します

地域の企業と就職希望者とのマッチングを行うことを目的に、企業合同説明会を来年2月にオンラインで開催します。参加を希望する企業を募集します。

対象企業 本社または事業所が市内にあり、正社員を採用する予定であること

参加費 無料

申込期限 12月21日(月)

申込方法 参加申込書を活力創生課 商工労政係まで提出してください。

※参加申込書は市のホームページからダウンロードできます。

【問合先】 活力創生課 ☎0978-72-5183

償却資産をお持ちの方は 申告が必要です

償却資産をお持ちの方は、令和3年1月1日現在における資産の状況について、令和3年2月1日(月)までに申告をしてください（固定資産税の対象となります）。償却資産とは、個人、法人を問わず事業を営んでいる方が所有している資産（構築物や機械、備品、太陽光発電設備等）です。

【固定資産税の特例について】

令和2年2月から10月までの連続する任意の3か月間の事業収入が前年同期比で30%以上減少している場合、償却資産および事業用家屋の固定資産税を減額する特例を受けることができます。

詳細はお問い合わせください。

【問合先】 税務課 資産税係
☎0978-72-5156

林業・椎茸関係事業と有害鳥獣対策事業について 相談・要望を受付けます

令和3年度事業計画策定に向け、各種事業の相談・要望を受付けています。ただし、各種事業における事業採択要件に満たない場合は、補助事業対象外となりますので、ご了承ください。

【乾しいたけ生産関連事業】

- ・乾しいたけ新規就農給付金事業
- ・簡易作業路開設（原木の伐採・搬出等の作業路）
- ・生産施設整備（生産向上のための施設整備）
- ・新規参入生産施設整備（参入5年未満の者）

【有害鳥獣被害防止対策事業】

- ・金網柵（地域または農業者が農地を囲む場合）
- ・電気柵（設置延長200m以上／セット）
- ・防護柵（設置延長100m以上／セット）

【問合先】 林業水産課 林業係 ☎0978-72-5198

ジャンボタニシの被害を防ぎましょう

ジャンボタニシは、田植え後の柔らかい苗を食べ被害を与えます。被害防止に取り組みましょう。地区全体で実施すると、効果が高くなります。

【厳寒期・1月～2月】

- ①冬期耕起と水路の泥上げ
寒い時期に田を乾かし耕起しましょう。浅く細かく数回行くと効果が高くなります。

【田植え前・5月中旬～6月中旬】

- ②ほ場内への進入防止策
取水口へのネットの設置が効果的です。
- ③水田の均平化の徹底
水深が深い所は食害され、浅い所は除草剤の効き目が悪くなります。

【問合先】 農政課 農政係 ☎0978-72-5167

【治山・林道関連事業】

- ・既設作業道等のコンクリート舗装整備（45%補助）
- ・土砂崩落等、災害が予想される箇所の相談・要望

【緑化木に関する事業】

- ・行政区や団体を対象にした緑化整備に対する苗木補助

【竹林整備関連事業】

- ・たけのこや竹林生産、広葉樹林化を目的とした荒廃竹林の整備

【里山整備に関する事業】

- ・薪ストーブ・薪割り機の購入に対する補助

④石灰窒素による防除

荒起し後4日間程度湛水し、貝を活動状態にしてから石灰窒素を散布します（20～30kg／10a）。薬害防止のため、代かき後3日以上置いてから田植えをしてください。

【田植え後・5月下旬～6月下旬】

- ⑤浅水管理
田植え後、2～3週間は水深4cm以下の浅水管理をしましょう。
- ⑥農薬散布
市販されている登録農薬を適正使用しましょう。
- ⑦貝・卵塊の捕殺
貝や卵塊を見つけたら捕殺しましょう。卵塊は水中に落とすだけでも駆除できます。